

Dé-Sign (脱記号) 20 —記憶のマチエール— 映像学科 大津はつね

Dé-Sign 20 —“La Matière de Mémoire”— Department of Imaging Art OHTSU Hatsune



平成元年から制作を続けているデ・サイン（脱記号）シリーズの20作目。マチエールとは、作品の表面の平滑さとかごつごつした感じなど素材の選択、用法によって創り出した肌合い、あるいは、絵画作品の場合には絵肌を意味する。戦争を生き抜いた人たちはもはや少なくなっている。

今まさに歴史が繰り返されるとも言われているが、戦後生まれには戦争体験を語ることは出来ない。枯れゆく記憶、だが、その足跡から無数の声が聞こえ、「記憶のマチエール」として立ち現れてくる。

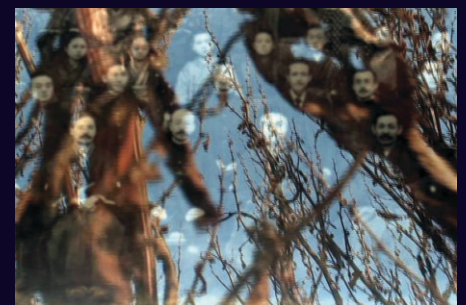
スタッフ・キャスト

制作：ビジュアル・ブレインズ（風間 正+大津はつね） Visual Brains (KAZAMA Sei+OHTSU Hatsune)

出演：須藤充子（SUDO Mitsuko） 音楽：クリストフ・シャルル（CHARLES Christophe）

AD：田中 綾子（TANAKA Ayako） 協力：平山 誠（HIRAYAMA Makoto）、大津伴絵+美佐子（OHTSU Tomoe+Misako）

2009/ビデオ/カラー/20分





10 March 1945,
 "The bombing of Tokyo"
 15.8 square miles (41km²) of the city
 was destroyed and
 over 100,000 civilians were killed.

